



すみれ組共同製作 「ひみつのいえ」



ねらい：・クラスの友達と共通のイメージをもち、一緒に活動することを楽しむ。

「バムとケロのもりのこや」の絵本を読んだ時に、“秘密基地”にとっても魅力を感じたすみれさん。これまでも何回か秘密の家をつくったことがあるのですが、扉の部分が上手くいかなかったり、しっかりと自立しなかったりということがありました。それでも諦めずにつくり続けていました。今回、造形展への取り組みの中で“バムとケロのもりをつくってみよう”と動きだした時、これまでの経験から『すみれ組みんなが入れるおお～きな家をつくりたい』という案がでてきました。

必要な材料なども子どもたちなりに考える姿がありました。アイディアが次々と出てきて、紙に書き留める中で「設計図も欲しい」と声があり、クラスみんなでどのような家をつくるのか共通のイメージをもてるように設計図のようなイラストも描きました。

「ひみつのいえ」づくりの頑張りエピソードを紹介しますね。

《窓づくり》

窓がいっぱいある家にしたいという思いがあり、段ボールで土台をつくることにしました。「段ボールはハサミでは切りにくいよね…それなら段ボールカッターを使おうよ」ということで、今回は一人一人段ボールカッターに挑戦しました！ハサミとは違った道具に触れてほしいというねらいもありました。段ボールカッターは日頃から使えるようにしているためスムーズに切る子もいれば、ちょっぴり難しい💦と苦戦する子もいました。何枚も窓を切るうちに刃の向きや持ち方、力の入れ方のコツを掴み、大小形も様々な窓が完成しました。たくさんできた窓のうち18枚は、覗くとカラフルに見える窓がありますよ！ぜひ覗いてみてくださいね。



《色塗り》

絵本の中でバムとケロがペンキで家を塗っていたことがとても印象的だったのでしょうか。「ペンキで塗ってみたい!」「色は絶対虹色だよね〜!」と口をそろえるすみれさん。

“子どもたちで前もって話し合ったの?”という程みんな同じ思いで少し驚いてしまった担任です。秘密の家なのにカラフルに塗っているところもポイントですよ♡

「大きい段ボールはいつも使う筆で塗ると大変なんじゃない?」と気づく声が聞こえたので、新しい道具としてローラーや平筆も使っていました。塗る場所によって筆を変えたり、「〇〇ちゃん、その筆で〜に塗ってくれる?」など友達同士のやりとりが見られたりしました。

段ボールを塗っていくうちに手や足、顔に絵の具がつき…楽しくなってきた子どもたち。「絵の具って本当に楽しい〜」の声があちらこちらから聞こえ、絵の具まみれの手や足、顔を友達と見せ合い大笑いしていましたよ。

絵の具遊びは、汚れを気にすることなく筆やローラー、時に手を使いながらダイナミックに絵の具の感触を味わっていました。

ご家庭で絵の具を落としていただきありがとうございました。



《屋根つくり》

「家には屋根は必要だね」と屋根づくりも始まりました。子どもたちの力では少し難しい部分は運転者さんの力も借りながら三角屋根を設置していきました。

スズランテープを棒につける際、押さえる人、セロハンテープを貼る人、切る人など様々な役割に自分たちで分かれてつくり進めていきました。

「ひみつのいえ」づくりを通して、様々な場面で友達とイメージを共有し役割分担をして進めたり、「こっち手伝って」と言葉を掛け合ったりしながら一緒に作る楽しさを感じている姿が見られました。まだまだ自分のやりたいように進めたい気持ちが強くなってしまう時もありますが、共通のイメージをもち、自分の考えを伝えるだけでなく友達の思いにも耳を傾け、「いいね〜」と取り入れたりする姿から成長を感じました。

完成した時には、両手を上にあげ飛び跳ねるほど大喜びをしている姿にみんなで成し遂げた達成感を味わっているように感じ、とても嬉しく思う担任でした。